

平成20年7月31日
水産庁

水産物の市況について（平成20年7月及び8月）

—東京都中央卸売市場における平成20年7月（平成20年6月21日～7月20日集計）の市況と、
8月の市況見通し（前月との比較）—

I 平成20年7月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量（水産物の生鮮品、冷凍品、加工品の合計）は前月と比べやや減少となり、卸売価格（水産物全体の1キログラム当たり平均価格）は横ばいへ推移しました。

II 平成20年8月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」
入荷量は前月並みと見込まれ、卸売価格も横ばいへ推移すると見込まれます。
(各地とも漁は低調)

「さけ・ます(塩蔵品・冷凍品)」
入荷量は前月よりやや減少すると見込まれるものの、卸売価格については新物べにさけの入荷もあることから全体的にみると横ばいへ推移すると見込まれます。

「さば(生鮮品)」
入荷量は前月並みと見込まれ、卸売価格も横ばいへ推移すると見込まれます。
(主漁場は北部太平洋海域、駿河湾から伊豆諸島周辺、九州西方海域)

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」
入荷量は前月よりやや増加すると見込まれ、卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。(主漁場は山形沖合)

「あじ(生鮮品)」
入荷量は前月よりやや減少すると見込まれ、卸売価格はやや強含みに推移すると見込まれます。(主漁場は山陰沿岸、九州西沖、駿河湾～伊豆諸島周辺)

「まぐろ(冷凍品)」
入荷量は前月並みと見込まれ、卸売価格は横ばいへ推移すると見込まれます。

「かつお(生鮮)」
入荷量は前月よりやや減少すると見込まれるものの、卸売価格は需要のピークを過ぎたためやや弱含みに推移すると見込まれます。

「さんま(生鮮)」
入荷量は本格的な漁期に入ることから前月より大幅に増加すると見込まれるものの、卸売価格は新物需要からやや弱含みで推移すると見込まれます。

凡例（目安）

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	並み	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～51	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	7月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
20年	52	826	56	813	53	825
前年	51	849	57	814	49	874

注1: 入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。
 注2: 入荷量は生鮮品、冷凍品、加工品の合計。

主要品目の価格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	7月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし(生鮮品)	594	92	140	102
さけ・ます(平均) (ぎんざけ塩蔵品) (あきざけ塩蔵品) (ときざけ塩蔵品) (べにざけ塩蔵品) (さけ類冷凍品)	635 683 400 800 950 608	100 100 100 100 100 101	98 101 84 106 101 101	102 106 126 100 101 107
さば(生鮮品)	241	58	92	79
するめいか(平均) (生鮮品) (冷凍品)	352 352 353	80 69 109	93 91 109	94 93 108
あじ(生鮮品)	634	110	72	98
まぐろ(冷凍品) (めばち冷凍品) (きはだ冷凍品) (くろまぐろ冷凍品) (みのみまぐろ冷凍品)	1,403 971 839 3,874 2,459	96 99 102 100 91	107 110 110 104 92	108 114 132 133 110
かつお(生鮮品)	509	60	91	116
さんま(生鮮品)	417	151	80	47

注1: 品目により、市場で主流となる形態が異なることから、市況を把握する指標としても
 つとも適当な形態についての価格データを掲載している。
 注2: 7月の価格は1~20日までの速報値。平年とは平成15年~19年の加重平均値。
 注3: さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきざけ、ときざけ、べにざけ、プラソテイツク
 サーマンが含まれる。
 注4: さけ・ます(平均)は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。
 注5: まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ、みのみまぐろが含まれる。

問い合わせ先: 水産庁加工流通課企画調査班
 代表 03-3502-8111
 内線 6617 三瓶、嶋田
 直通 03-3591-5612